

*American DJ*®

# VIZI WASH LED 108

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度はAmerican DJ VIZI WASH LED 108 をご購入頂き、誠にありがとうございます。  
VIZI WASH LED 108 は3W のLEDを36個搭載した、フリッカーフリーのムービングヘッドです。スモークマシンと組み合わせてご使用頂くことで、空間をより華やかに彩ることが可能です。  
本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

## 安全上の注意

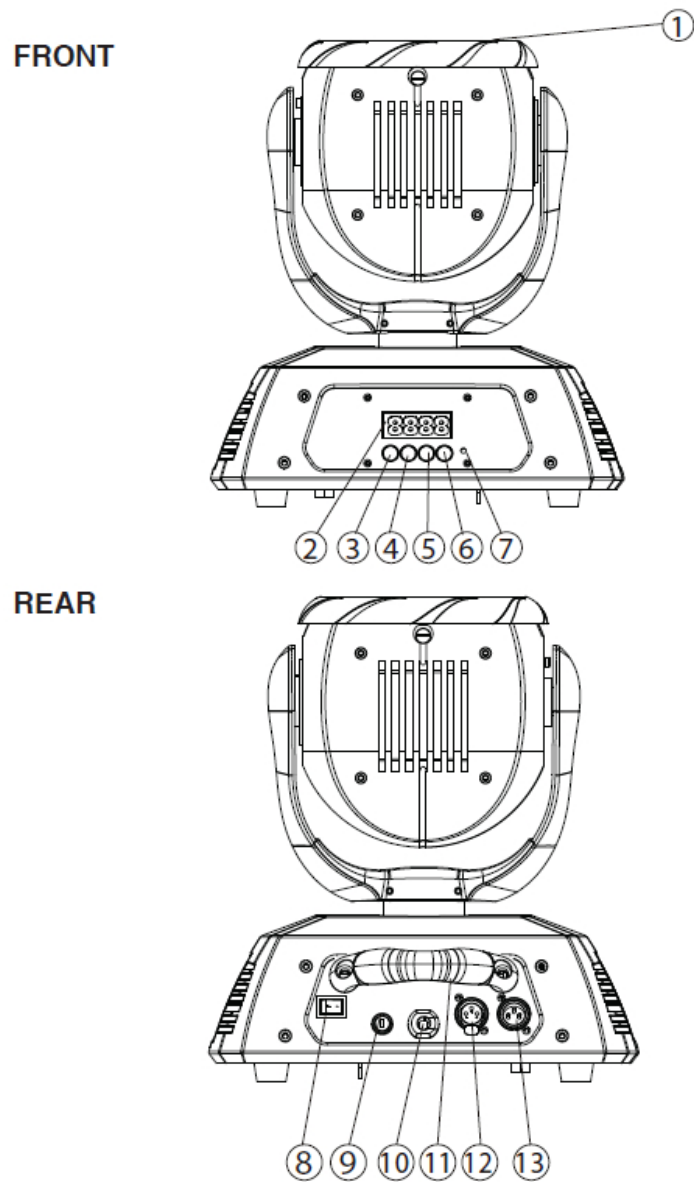
1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりするところのない場所に設置してください。
3. 電源、電圧が正しいことを確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
4. ディマーパックからの電源供給によるご使用はお止めください。
5. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
9. 本体は壁から15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。  
メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

## 特徴

- RGBカラーミキシング
- フリッカーフリー
- サウンドアクティブモード（本体にマイクを内蔵）
- スタンドアロンモード
- マスター/スレーブモード
- DMX-512 対応（12DMX チャンネル）

## 各部名称



① 一体型レンズ

3W LED × 36 個（赤 12、緑 12、青 12）の高品質一体型レンズです。

② デジタルディスプレイ

操作メニューを表示します。

③ MODE/ESC ボタン

メニュー画面を表示・終了します。特定のメニューではリストを逆にスクロールします。

④ UP ボタン

システムメニューのリストを順にスクロールします。

⑤ DOWN ボタン

システムメニューのリストを逆にスクロールします。

⑥ ENTER ボタン

システムメニュー選択画面で、表示しているメニューを決定します。

⑦ 内蔵マイク

サウンドアクティブモードにおいて、外部からの低音を感知します。このマイクは低音のみに反応します。高音、マイク上部を叩く、などには反応しない場合があります。

⑧ 電源スイッチ

電源の ON/OFF 切り替えを行います。

⑨ ヒューズホルダー

内部に保護ヒューズがセットされています。激しい電圧の変化から電子回路を守る部品なので、絶対に外して使用しないでください。交換する際は、同規格のヒューズをご使用ください。

⑩ 電源ケーブル

正しい電圧でご使用ください。電源ケーブルおよびプラグに不具合がある状態では使用しないでください。電源アースはユニット内部でショートした際の火事や漏電を防ぎます。

⑪ 持ち運び用ハンドル

本体を持ち運びされる際はこのハンドルを持ってください。ヘッドやアームを持って運ぶと、

灯体が破損する恐れがあります。

**⑫ DMX 出力端子 (3ピン XLR メス)**

入力された DMX 信号を他の灯体へ転送します。また、マスター/スレーブモードにおいて、信号を次の灯体へ転送する際に使用します。

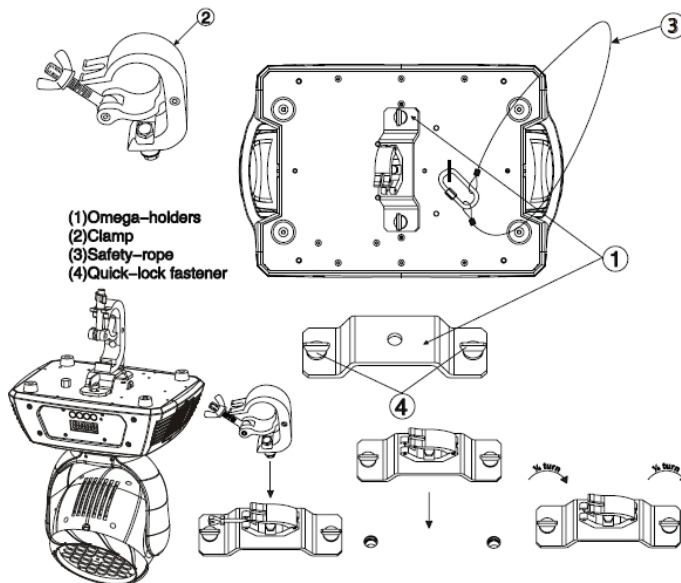
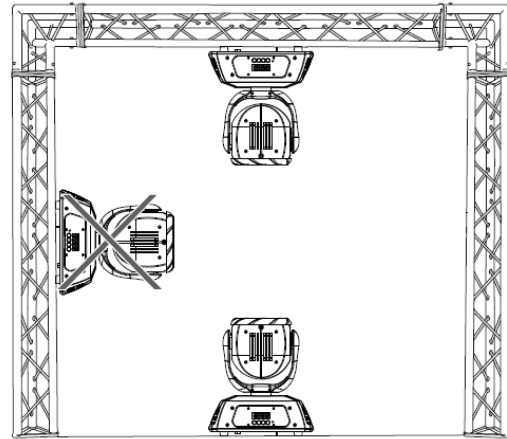
**⑬ DMX 入力端子 (3ピン XLR オス)**

DMX 信号の入力や、マスター/スレーブモードでの接続に使用します。

## 本体の設置方法

本体を取り付ける際は、設置面が最低で本体の 10 倍の荷重に耐えうる平面であることを予め確認してください。また、セーフティーワイヤーを使って二次的な安全を確保してください。セーフティーワイヤーは必ず専用箇所へ取り付け、ハンドルには取り付けないでください。

VIZI WASH LED 108 は平面上への設置及び天井からの吊り下げが可能です。側面には設置しないでください。また、灯体の設置時及び撤去時には、絶対に真下に立たないでください。



(1)Omega-holders  
(2)Clamp  
(3)Safety-rope  
(4)Quick-lock fastener

- ① オメガホルダー
- ② クランプ (別売)
- ③ セーフティーワイヤー (別売)
- ④ クイックロック

1. オメガホルダーにクランプを取り付けてください。
2. 本体の底面にオメガホルダーのクイックロック部を挿入し、クイックロックを時計回りにしっかりと締めてください。
3. クランプを用いて本体を設置箇所に取り付けます。
4. 本体の底面にある専用の穴に、セーフティーワイヤーのカラビナを掛けてください。
5. 設置箇所にセーフティーワイヤーを回し、末端にカラビナを掛けてください。

## システムメニュー

Addr	A001 : A501			DMX アドレスの設定 (スレーブ設定は A001)
test	t-01 t-12			各機能のテスト
PLAY	run	nsbr ALON		オートモード (マスター/アローン)
	RUd1	nsbr ALON		サウンドアクティブモード (マスター/アローン)
	RUt0	HOLD RUt0 RUd1 CLOS		DMX 信号喪失時の動作設定
rese	ALL			モーターのリセット
	SCAN			パン・チルトのリセット
time	LIFE	0000 : 9999		灯体の総動作時間
	CODE			クリアタイムコード パスワードは C038
	CLFE	ON / OFF		灯体の動作時間を消去
pan	ON OFF			パン 反転
tilt	ON OFF			チルト 反転
FINE	ON OFF			16bit / 8bit 切替
DEgr	540 630			パン角度選択
mic	n-00 : n-99			内蔵マイク感度調整
di SP	UALLU	d-00 d-12		各チャンネルの DMX 値を表示

	d ON	ON / OFF		ディスプレイの消灯/点灯
	FLIP	ON / OFF		ディスプレイを 180 度反転
	LOCK	ON / OFF		キーロック
SPEC	rdm11	ON / OFF		DMX コントローラーからの遠隔操作で DMX アドレスを変更
	SPOt	ON / OFF		光の調整
	dFSE	ON / OFF		機能のデフォルト
	FEEd	ON / OFF		パン/チルトのエラー修正
	SPEE	SP-1 SP-2		ムーブメントモードの選択
	FANS	AUtO HIGH		ファンのモード選択
	UEr	U-10 : U-99		ソフトウェアバージョン
	ADJU		COdE	C000
		CH01 : CH03	-128 : 127	モーターキャリブレーション
Edit	StEP	S-01 : S-48		プログラム数の設定
	SC01 : SC48	C-01 : C-12	0100~ 01FF : 1200~ 12FF	各シーンのチャンネル編集
		tINE	000.2s 199.8s	シーンの時間設定
	CEdt	ON / OFF		DMX コントローラーでのプログラム設定
	rEC	rEO1		オートセーブ
	rUN	ON / OFF		プログラムテスト

### ADDR (ADDRESS)メニュー

**ADD 1 - ASD 1** - 灯体の DMX アドレスを設定します。

### TESTメニュー

**T-01 - T-12** - 各チャンネルの機能をテストします。チャンネルは 9 つあります(いくつかのチャンネルはテストできません)。

### PLAYメニュー

**run** - マスターモード、またはスタンドアローンモードで動作します。内部プログラムモードを開始します。

**Run 1** - マスターモード、またはスタンドアローンモードで動作します。内部プログラムモードを開始します。

**Run 0** - DMX 信号を喪失した時の動作を設定します。以下の 4 つの設定から選択できます。

- **Hold** - DMX 信号を喪失すると、直前の設定を保持します。(デフォルトの設定)
- **Run 0** - オートモードに切り替わり、プリプログラムのショーを開始します。
- **Run 1** - サウンドアクティブモードに切り替えます。
- **CLOS** - ホームの設定に戻ります。

### RESE (RESET)メニュー

**ALL** - 全てのモーターをリセットします。

**SCAN** - パン/チルトのモーターをリセットします。

### TIMEメニュー

**LIFE** - 灯体の総動作時間を表示します。

**CODE** - パスワードを入力します。

**CLFE** - 灯体の動作時間を消去します。

### RPAN (REVERSE PAN)メニュー

**ON / OFF** - **ON**が選択されている場合、パンが反転します。

### RTILT (REVERSE TILT)メニュー

**ON / OFF** - **ON**が選択されている場合、チルトが反転します。

### FINEメニュー

**ON / OFF** - パン/チルトの動作について、8ビットと16ビットの切り替えを行います。

### DEGR メニュー

540 / 630 - パンの角度を 630° / 540° で切り替えます。

### MIC メニュー

0-00 / 0-99 - 内蔵マイクの感度を調節します。

### DISPLAY メニュー

UALL - 各チャンネルの DMX 値を表示します。

d ON - ON に設定すると、約 2 分後にディスプレイを消灯します。

FLIP - ディスプレイの表示を 180° 回転します。

LOCK - 15 秒後に操作ボタンをロックします。

### SPEC メニュー

r d n i i - DMX コントローラーで DMX アドレスの設定を可能にします。

SPOt - LED が全灯します。

dFSE - 灯体の設定をデフォルト状態に戻します。

FEEd - パン/チルトの誤動作修正の ON/OFF を設定します。

SPEE - ムーブメントのモードを選択します。

FANS - ファンの動作モードを選択します。

UEr - ソフトウェアのバージョンを表示します。

AdJU - モーターの調整を行います。

### EDIT メニュー

StEP - プログラムのステップ数を 1~48 の中から選択します。

SC01-SC48 - シーンの編集を行います。

rEC - 外部 DMX コントローラーで選択したシーンを自動的に記録します。

rUN - プログラムを実行します。

## オンボードシステムメニュー

メインメニューにアクセスするには、MODE/ESC ボタンを押してください。UP/DOWN ボタンを押して、変更したい機能のメニューを表示させ、ENTER ボタンを押します。再度、UP/DOWN ボタンを押して機能を変更してください。変更をせずに終了する場合は、MODE/ESC ボタンを押してください。

### Addr メインメニュー

#### DMX アドレスの設定

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにAddr と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにADD ! と表示されます。UP/DOWN ボタンを押して DMX アドレスを選択します。
4. ENTER ボタンを押して決定します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

ディスプレイにADD ! と点滅している間は、UP/DOWN ボタンを押すことで DMX アドレスを変更することができます。

### test メインメニュー

#### 各チャンネルにおけるファンクションのテスト

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにtest と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにt-0 ! と表示されます。UP/DOWN ボタンを押してテストしたいチャンネルを選択します。MODE/ESC ボタンを押してテストを終了します。

### PLAY メインメニュー

#### 「UN」オートモード (スタンドアロン、またはマスター/スレーブモード)

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにPLAY と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに「UN と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して「test」または「ALON」を選択し ENTER ボタンを押してください。PASS と点滅して動作を開始します。

## AUD I サウンドアクティブモード (スタンドアロン、またはマスター/スレーブモード)

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにPLAYと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにAUD Iと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してMASTERまたはALONを選択し、ENTER ボタンを押してください。PASSと点滅して動作を開始します。

## AUTO DMX 信号を喪失した際の動作設定

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにPLAYと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにAUTOと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して、DMX 信号を喪失した際の動作をHOLD、AUTO、AUD I、CLOSEの中から選択し、ENTER ボタンを押します。デフォルトではHOLDに設定されています。

## rESE メインメニュー

### ALL モーターのリセット

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにrESEと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにALLと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すとモーターをリセットします。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

### SCAN パン/チルトモーターのリセット

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにrESEと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにSCANと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すと、パンとチルトのモーターをリセットします。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## t IFE メインメニュー

### L IFE 灯体の総動作時間をディスプレイに表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにt IFEと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。

3. ディスプレイに **LIFE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して ENTER ボタンを押すと、総動作時間が表示されます。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**CODE** 動作時間を消去するためのパスワードを入力します。パスワードは **C038** です。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **LIFE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **CODE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してパスワード **C038** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**CLFE** 灯体の動作時間を消去します。(予めパスワードを入力してください)

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **LIFE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **CLFE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON / OFF** のいずれかを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**rPAN** メインメニュー

**rPAN** パンの動作を反転します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **rPAN** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して **ON** または **OFF** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
**ON** でパンを反転、**OFF** で解除となります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**rTIL** メインメニュー

**rTIL** チルトの動作を反転します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **rTIL** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して **ON** または **OFF** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
**ON** でチルトを反転、**OFF** で解除となります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## F INE メインメニュー

F INE パンとチルトの動作を 8 ビットまたは 16 ビットに切り替えます。デフォルトでは 16 ビットに設定されています。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに F INE と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して ON または OFF を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
ON を選択すると 16 ビット、OFF で 8 ビットとなります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## dE9r メインメニュー

dE9r パンの角度を 540° (デフォルト) または 630° に切り替えます。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに dE9r と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して 630 または 540 を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## n IC メインメニュー

n IC 内蔵マイクの感度を調節します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに n IC と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにマイク感度を表す数字が表示されます。UP/DOWN ボタンを押して内蔵マイクの感度を n-00 ~ n-99 から選択し、ENTER ボタンを押して決定します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## di SP メインメニュー

di SP 各チャンネルの DMX 値を表示させます。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに di SP と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに di SP と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイにチャンネルを表す数字が表示されます。UP/DOWN ボタンを押して任意のチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。例えば d- 12 を選択すると、ディスプレイには 12 番目のチャンネルの DMX 値のみが表示されます。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

キャンセルし、メインメニューに戻ります。

**d ON** この機能を ON にすると、約 2 分後にディスプレイが消灯します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **d SP** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **d ON** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** または **OFF** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
**ON** でディスプレイを消灯、**OFF** で常時点灯となります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**FL IP** ディスプレイの表示を 180° 回転させます。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **d SP** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **FL IP** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** または **OFF** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
**ON** でディスプレイを 180° 回転、**OFF** で解除となります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**LOCT** ボタンを自動的にロックする機能です。この機能が ON になっていると、ボタンを押してから 15 秒後にボタンがロックされます。ボタンのロックを解除するには、MODE/ESC ボタンを 3 秒以上長押しします。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイに **d SP** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **LOCT** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** または **OFF** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
**ON** で **LOCT** を起動、**OFF** で解除となります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## SPEC メインメニュー

rdmII DMXコントローラーからの遠隔操作でDMXアドレスを変更できます。この機能は出荷時の設定で、ONになっています。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにrdmIIと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ONまたは OFFを選択します。ONでrdmIIを有効に、OFFで解除となります。ENTER ボタンを押して決定すると、PASSと点滅します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

※この機能を使用する際は、以下の点に注意してください。

DMXコントローラーから遠隔操作でDMXアドレスを変更する際は、現在設定されているDMXアドレスを表示させてから、変更する必要があります。また、はじめにDMXコントローラーのすべてのチャンネルが0に設定されていることを確認してください。

### [ DMXコントローラーからのDMXアドレス設定方法 ]

1. DMXコントローラーで、チャンネル1のDMX値を“7”に設定してください。
2. DMXアドレスを1～255の間に設定する場合は、チャンネル2のDMX値を“7”に、DMXアドレスを256～511の間に設定する場合は、チャンネル2のDMX値を“8”に設定してください。
3. チャンネル3のDMX値を、任意のDMXアドレスに設定してください。灯体が新しいDMXアドレスを認識するのに、約20秒かかります。

例1) DMXアドレスを57に設定する場合、チャンネル1とチャンネル2のDMX値を“7”にした上で、チャンネル3のDMX値を57に設定します。

例2) DMXアドレスを420に設定する場合、チャンネル1のDMX値を“7”に、チャンネル2のDMX値を“8”にした上で、チャンネル3のDMX値を“164”(256+164=420)に設定します。

## SPOT LEDが全灯します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにSPOTと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ONまたは OFFを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。ONでdFSEを起動します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

dFSE 出荷時の設定に戻すメニューです。変更を加えた設定は失われ、すべての機能がデフォルトに戻ります。出荷時の設定に戻すには、設定変更前のアドレスを設定する必要があります。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにdFSEと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ONまたは OFFを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
ONでdFSEを起動します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

※ この機能を起動すると、灯体はデータのリロードを始めます。

**FEEd** パン/チルトの修正機能を ONまたは OFFにします。この機能は、パンやチルトが何らかの原因で元の位置から動かされた場合、自動的に修正するものです。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにFEEdと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ONまたは OFFを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
ONでFEEdが有効、OFFで解除となります。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**SPEE** ムーブメントモードを選択します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにSPEEと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してSP-1またはSP-2を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**FANS** ファンの設定を HIGHまたは AUTO に設定します。デフォルトでは AUTO に設定されています。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにFANSと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してHIGHまたはAUTOを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。  
MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

**UEr** 灯体のソフトウェアのバージョンを表示させます。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにUErと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。

4. ディスプレイにU-10やU-99など、バージョンが表示されます。MODE/ESC ボタンを押すと終了します。

### AdjU モーターを調整します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにSPECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにAdjUと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイにCOdEと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
5. ディスプレイにCO00と表示されます。数字はキャリブレーションパスワードを表します。キャリブレーションパスワードはCO50です。UP/DOWN ボタンを押してパスワードを入力し、ENTER ボタンを押します。
6. UP ボタンを押すと、ディスプレイにCHO 1と表示されます。数字は灯体のチャンネル番号を表します。
7. UP/DOWN ボタンを押して、CHO 1またはCHO3のいずれかを選択し、ENTER ボタンを押します。
8. ディスプレイに数字が表示されます。数字はキャリブレーションの値です。
9. UP/DOWN ボタンを押して、任意のキャリブレーション値を-128~127の間で設定します。キャリブレーション値をスクロールすると、灯体のモーターが動きます。
10. 任意のキャリブレーション値が表示されたら ENTER ボタンを押します。
11. 設定が終了したら、MODE/ESC ボタンを押してメニューに戻ります。

## プログラムの編集

### Ed It メインメニュー

コントロールパネルまたは外部コントローラーを使用して、プログラムを本体内部のメモリーに書き込むメニューです。

### STEP (S-01~S-48) プログラムのステップ数を設定するメニューです。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにEd Itと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにSTEPと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイにS-0 1と表示されます。これはプログラムの最初のステップで、1~48 までのステップが設定できます。例えばS-05と表示された場合、保存した最初の5シーンを再生します。UP/DOWN ボタンで任意の値に設定し、ENTER ボタンを押して決定します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## SC01 (SC01~SC48) プログラムのシーンを選択します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにEd Itと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに任意のシーンナンバーが表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。シーン 1 を編集する場合はSC01を選択します。
4. ディスプレイにC-01と表示されます。数字はチャンネルを表します。UP/DOWN ボタンを押し調整を行うチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押して保存します。
5. 設定が完了するまで手順 3~4 を繰り返します。MODE/ESC ボタンを押すとキャンセルし、メインメニューに戻ります。

## rEC 外部 DMX コントローラーから自動的にシーンを記録します。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにEd Itと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに rECと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイにrEO1と表示されます。数字はシーンの番号を表します。外部 DMX コントローラーでシーンを再生すると、自動的に VIZI WAH LED 108 本体の内部メモリーに保存されます。MODE/ESC ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

## rUN 作成したプログラムを開始するメニューです。STEP (S-01~S-48) でステップ数の設定、SC01で各シーンの編集ができます。

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにEd Itと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに rUNと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押し ONまたは OFFを選択し、ENTER ボタンを押して決定します。ONでプログラムを開始します。MODE/ESC ボタンを押すと、メニューに戻ります。

### 編集手順 1: コントロールパネルを使用したシーンのプログラム

1. MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
2. ディスプレイにEd Itと表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイにSC01と表示されます。数字はシーン番号を表します。UP/DOWN ボタンで任意のシーンを選択し、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイにC-01と表示されます。数字はチャンネルを表します。UP/DOWN ボタンを押し任意のチャンネルを選択し、ENTER ボタンを押します。
5. 選択したチャンネルの DMX 値がディスプレイに表示されます。1100と表示された場合、編集シーンのチャンネル 11 であることを意味します。DMX 値は下 2 桁の数字・アルファベットで表されます。UP/DOWN ボタンを押し DMX 値を任意の値に変更し、ENTER ボタンを押して

ださい。

- 4~5 を繰り返して、そのシーンのすべてのチャンネルで DMX 値を設定します。
- ディスプレイに **time** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押してください。ディスプレイにシーンを再生する時間が表示されます。**time-02** と表示された場合は、シーン 1 の再生時間が 2 秒という意味になります。
- UP/DOWN ボタンを押して再生時間を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 手順 3~8 を繰り返して他のシーンの編集を行います。
- MODE/ESC ボタンを押して終了します。設定したシーンは **run** で呼び出すことができます。ステップ数は **STEP** で設定します。

### 編集手順 2: 外部 DMX コントローラーを使用したシーンのプログラム

- MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
- ディスプレイに **edit** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイに **SC01** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイに **edit** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイに **OFF** と表示されます。DMX コントローラーでシーンを呼び出し、本体の UP ボタンを押して **ON** を選択します。
- ディスプレイに **SC01** と表示されます。これでシーン 1 の保存が完了しました。
- ENTER ボタンを押してから、UP/DOWN ボタンを押して **time** を選択し、ENTER ボタンを押します。ディスプレイにシーンを再生する時間が表示されます。**time-02** と表示された場合は、シーン 1 の再生時間が 2 秒という意味になります。UP/DOWN ボタンを押して再生時間を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 手順 3~7 を繰り返して、必要なシーンの保存を行います。
- MODE/ESC ボタンを押して終了します。設定したシーンは **run** で呼び出すことができます。ステップ数は **STEP** で設定します。

### 編集手順 3: 外部 DMX コントローラーから、選択したシーンを自動的に記録する

- MODE/ESC ボタンを押して、ディスプレイにメインメニューを表示させます。
- ディスプレイに **edit** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイに **STEP** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
- UP/DOWN ボタンを押してステップ数を選択し、ENTER ボタンで決定します。ディスプレイには **PASS** と表示されます。
- ディスプレイに **rec** と表示されるまで DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイに **rec01** と表示されます。数字は DMX コントローラーから選択したシーンが保存される、内部メモリーのシーン番号です。
- DMX コントローラーでシーンを呼び出すと、灯体がシーンを自動的に記録します。**STEP** メニ

ユーで選択したステップ数を読み込んだ後、メインメニューに戻ります。

## エラーコード

電源が入ると、灯体は自動的にリセット/テストモードに入ります。このモードでは、すべての内部モーターが初期位置に戻ります。このとき内部モーターに問題があると、ディスプレイにエラーナンバーが点滅します。数字は機能番号を表し、**01Er**と表示された場合はチャンネル 1 のモーターに何らかの異常があることを示します。スタートアップで複数のエラーが発生した場合は、すべてディスプレイに表示されます。例えば、チャンネル 1 とチャンネル 3 に異常がある場合、**01Er**と**03Er**が 5 回点滅します。

スタートアップで異常があった場合、灯体は自動的に 2 度目のモーター調整を行います。2 度目の調整時にもエラーがあった場合は、自動的に 3 度目の調整も行われます。

3 度目の調整でもエラーが解決しない場合、灯体は以下のように反応します。

① エラーが 3 つ以上の場合

灯体はリペアが行われるまでスタンバイモードに入ります。

② エラーが 2 つ以下の場合

灯体はエラーが解消されるまで、通常の動作を行います。エラーの点滅表示は引き続き行われます。

### **01Er** - PAN 動作エラー

スタートアップやリセットコマンドの結果、アーム部が初期の位置に戻っていない場合に表示されます。アームの磁気回路もしくはステッピングモーターの不具合が考えられます。

### **03Er** - TILT 動作エラー

スタートアップやリセットコマンドの結果、ヘッドが初期の位置に戻っていない場合に表示されます。チルトの磁気回路もしくはステッピングモーターの不具合が考えられます。

## オペレーション

VIZI WASH LED 108 には 3 つのオペレーションモードがあります。この項ではそれぞれのモードについての違いを説明します。

**スタンドアロンモード:** 音に反応した動作、または内蔵プログラムに従った動作をします。

**マスター/スレーブモード:** DMX コントローラーなしで最大 16 台の VIZI WASH LED 108 を同期させて使用することができます。音に反応しての動作、または内蔵プログラムに従った動作をします。

**DMX コントロールモード:** DMX コントローラーを使って VIZI WASH LED 108 を制御することができます

### スタンドアロンモード

音に反応して動作するサウンドアクティブモード、または内蔵プログラムに従った動作を行うオートモードのいずれかを選択できます。設定方法については、前述の「オンボードシステムメニュー」内の **PLAY** を参照してください。システムメニューからショーの変更やチルトやパンを反転させることも可能です。

### マスター/スレーブモード

DMX コントローラーなしで最大 16 台の VIZI WASH LED 108 を同期させて使用することができます。マスター/スレーブモードでは、1 台の VIZI WASH LED がコントロールユニットとして動作し、残りの灯体はコントロールユニットのプログラムに準じて動作します。コントロールユニットはどの灯体にも振り分けることができます。動作は内蔵プログラム、またはサウンドアクティブモードとなります。

1. 各機器の背面を 3 ピン XLR デジタルケーブルで連結します。マスターユニットが始点となるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子(メス)に、3 ピン XLR デジタルケーブルのオスを接続します。ケーブルの全長が長くなる場合は、最後の灯体にターミネーターを接続することをお勧めします。
2. マスターユニットの MODE/ESC ボタンを押してディスプレイにメインメニューを表示させます。
3. ディスプレイの表示が **PLAY** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **rUN** または **RUd I** を選択し、ENTER ボタンを押します。 **rUN** は内蔵プログラムの再生、**RUd I** はサウンドアクティブモードとなります。
5. UP/DOWN ボタンを押して **rASt** を選択し、ENTER ボタンを押します。
6. スレーブユニットを **Addr** メニューで **ROO I** に設定します。
7. メインメニューに戻るには MODE/ESC ボタンを押します。

## DMX コントロールモード

外部 DMX コントローラーで制御を行います。

1. VIZI WASH LED 108 と DMX コントローラーを XLR デジタルケーブルで接続します。ケーブルの全長が長くなる場合は、最後に連結された灯体にターミネーターを接続してください。
2. DMX アドレスの設定を行います。設定方法は前述の「オンボードシステムメニュー」内、**Addr** の項を参照してください。
3. DMX 表と DMX コントローラーの取扱説明書を参照しながら制御を行ってください。

- DMX 表 -

チャンネル	DMX 値	機能
1	0-255	PAN 動作 8ビット
2	0-255	PAN ファイン 16ビット
3	0-255	チルト動作 8ビット
4	0-255	チルトファイン 16ビット
5	1-255	レッド 0% - 100%
6	1-255	グリーン 0% - 100%
7	1-255	ブルー 0% - 100%
8	0-31	シャッター&ストロボ LED OFF
	32-63	LED ON
	64-95	ストロボ 遅 → 速
	96-127	LED ON
	128-159	パルスエフェクト
	160-191	LED ON
	192-223	ランダムストロボ 遅 → 速
	224-225	LED ON
9	0-255	ディマー 0% - 100%
10	0-7	機能なし
	8-231	レインボーカラー
	232-255	クロスフェードカラー 遅 → 速
11	0-225	PAN/チルト 動作速度 速→遅
	226-235	PAN/TILT 動作時のみブラックアウト
	236-255	機能なし
12	0-79	カラーチェンジ ノーマル
	80-84	全モーターリセット
	85-87	スキャンモーターリセット
	88-99	機能なし
	100-119	内蔵プログラム 1
	120-139	内蔵プログラム 2
	140-159	内蔵プログラム 3
	160-179	内蔵プログラム 4
	180-199	内蔵プログラム 5
	200-219	内蔵プログラム 6
	220-239	内蔵プログラム 7
	240-255	サウンドアクティブモード

## DMX-512 について

### DMX-512

DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより、複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより、DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

### DMXリンク

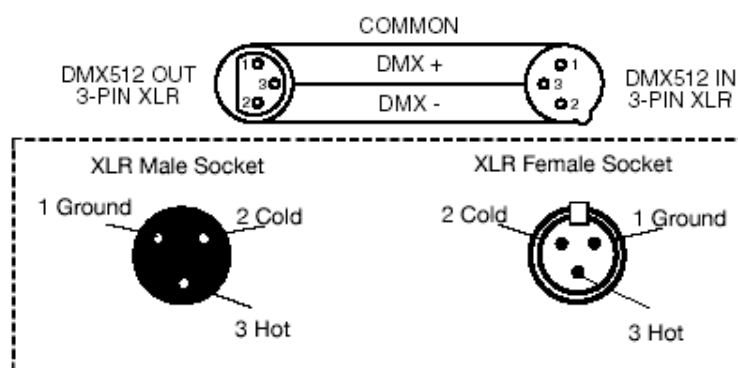
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番と、DMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

### DMX ケーブル

VIZI WASH LED 108 は 12 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体側面の操作パネルで設定してください。DMX 機器との接続は、3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

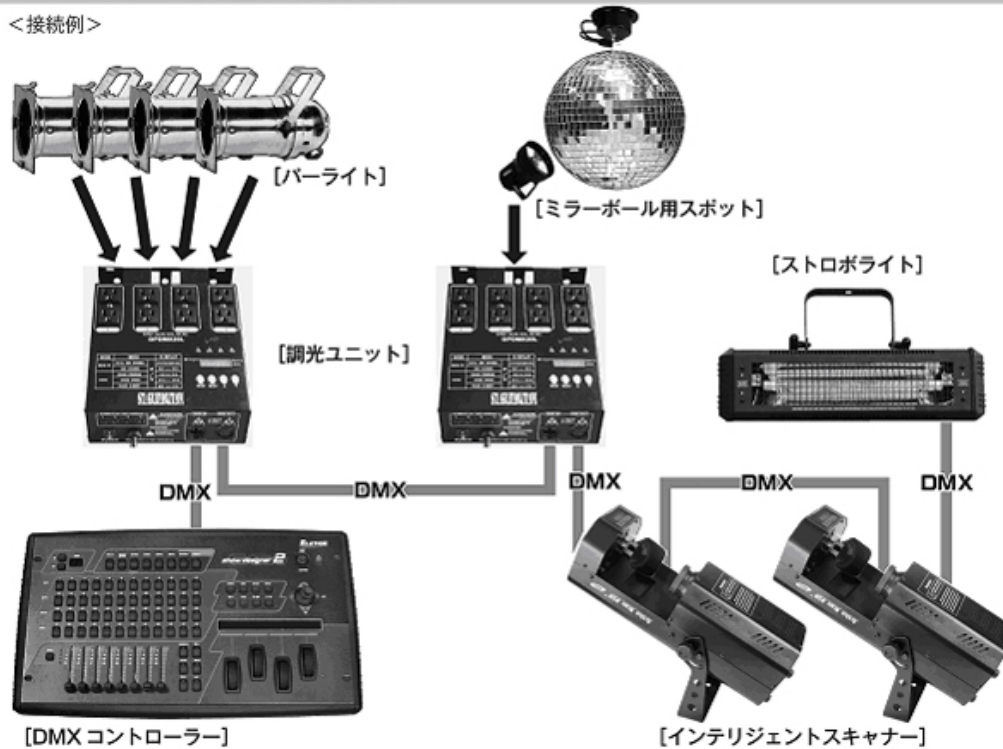


### 5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては3ピン仕様のXLRコネクタの代わりに、5ピン仕様のXLRコネクタをDMX信号の通信用に採用しています。5ピン仕様のXLRコネクタをVIZI WASH LED 108に接続する際は、変換アダプターをお使いください。

## DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。

※



・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。

・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※—長距離の配線について—

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

### ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

## ヒューズの交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブルの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。〈 〉内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

### ■外側のレンズ 〈一週間に一度〉

レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

### ■ファンおよび通気孔 〈一週間に一度〉

ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

### ■内部各種センサー 〈一ヶ月に一度〉

温度センサー及び、各部位の動作状況を確認するためのセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

### ■信号ケーブル、電源ケーブル差込口 〈一ヶ月に一度〉

差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

## ■ネジ <三ヶ月に一度>

各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 正しい電源・電圧に接続されているか</li><li>・ 電源ケーブルが損傷していないか</li><li>・ ヒューズが切れていないか</li></ul>
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 接続に問題がないか</li><li>・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか</li><li>・ DMX アドレスが正しく設定されているか</li></ul>
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 小さい音や高音でないか</li><li>・ マイク感度が低く設定されていないか</li></ul>
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 接続された複数台の機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか</li></ul>

## 製品仕様

モデル	VIZI WASH LED 108
LED	3W × 36 個 (赤 12 個、緑 12 個、青 12 個)
ビーム角	22 度
DMX チャンネル数	12DMX チャンネル
消費電力	120W
ヒューズ	20mm 3.15A タイムラグ
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	31(W) × 36.9(H) × 22.8(D) cm
重量	9kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

## 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

*American DJ*®